

## (1) 概要

本町の公共下水道事業は、阿武隈川流域関連公共下水道として昭和60年度から工事に着手し、平成3年4月に供用を開始しました。令和6年度末の普及率は39.3%、整備面積295.8haとなっています。農業集落排水については、これまでに大内、金山、小斎の3地区の整備を完了し、令和6年度末の普及率は13.7%、整備面積は108.9haです。合併処理浄化槽事業については、平成7年度から個人設置型の事業手法を進めており、普及率は28.0%となっています。令和6年度末における本町全体の普及率は81.0%です。

本町では、今後も公共下水道事業、農業集落排水始業及び個人設置型浄化槽事業を推進し、令和27年度までに普及率100%を目指していきます。

## (2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理人口普及率：R6 81.0%      R17 93.9%      R27 100.0%

※市町村全体の汚水処理人口普及率と、各事業別の汚水処理人口普及率の合計値は、端数処理の関係上一致しない。

## (3) アクションプラン達成のための各事業の取組

### 1) 下水道事業（阿武隈川下流流域）

令和7年度に市街地の管渠整備がおおむね完了するため、今後は新規開発される住宅や事業所の立地状況に応じて、下水道への接続を推進していきます。

下水道処理人口普及率：R6 39.3%      R17 39.1%      R27 39.1%

### 2) 集落排水事業（農集・漁集・簡易排水・コミプラ等）

農業集落排水事業は、金山、大内、小斎の3地区で実施しており、全ての地区で整備が完了しています。今後は、施設の集約による事業の効率化及び経営基盤の強化を図るため、公共下水道に近接している金山地区と大内地区において、段階的な公共下水道への接続を検討していきます。また、老朽化施設の機能強化を踏まえつつ、適切な運営管理のもと、将来的な公共下水道への統合に向けて検討を進めていきます。

集落排水等処理人口普及率：R6 13.7%      R17 13.6%      R27 13.7%

### 3) 合併処理浄化槽整備事業

本町では、平成7年度から個人設置型の浄化槽設置整備事業を実施しています。国や町の補助金を交付することで、合併処理浄化槽の設置を希望する世帯への普及促進を図っています。また、高齢化世帯の増加が浄化槽未普及の一因となっていることが課題であるため、広報活動などをさらに強化し、より一層の普及促進に取り組んでいきます。

浄化槽処理人口普及率：R6 28.0%      R17 41.1%      R27 47.2%

## (4) 住民との協働

広報誌等により、下水道の適切な使用方法や、接続の推進及び浄化槽の普及促進を積極的に周知し、水洗化率の向上を目指します。